

飼育レポート

report.1

本州初のシマフクロウの繁殖に向けて

飼育展示担当 佐々木 祐紀

本州では初めてとなる絶滅危惧種「シマフクロウ」の繁殖を目指し、2023年9月21日に釧路市動物園からオスの「ココラ」が、9月27日に旭川市旭山動物園からメスの「アオハ(来園時はR青。のちに改名)」が来園しました。2羽が過ごしやすい環境を整えて準備していましたので、待ちに待った来園でした。アオハの到着日から2羽の見合いの開始となり、どんな行動をするのか、トラブルは起こらないか、などの不安を抱えながら動物舎を観察していました。

見合いは、2部屋に分けた飼育のため、仕切用の壁を金網に取り替え、互いに隣の部屋の様子が分かるようにしました。同居の際に金網の仕切りを外すと2部屋が1部屋になる仕組みです。

金網の部分には止まり木を付けるとともに、網越しでの闘争に備え、透明な板を貼って直接爪が出ないようにしました。

室内に取り付けたカメラで行動を観察すると、見



アオハ

ココラ



アオハ(左)とココラ



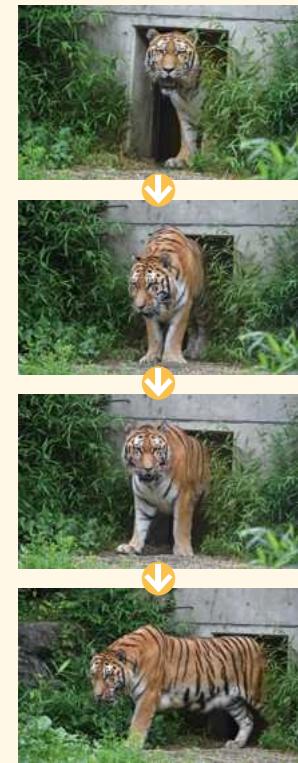
止まり木に止まるココラ(左)とアオハ



report.2

長い時間をかけたシュウの展示訓練

飼育展示担当(獣医師) 湯澤 菜穂子



2023年3月、オスのアムールトラのシュウが、当園で飼育展示しているメスのカサンドラのペアリング相手として、はるばる大分県の九州自然動物公園から仲間入りしました。

シュウは当園の飼育員にはすぐ慣れた様子でしたが、慎重で繊細な性格から屋外の展示場に出るのをひどく怖がり、なかなか外へ出ようとしませんでした。寝室では食欲旺盛なシュウも、展示場に置いたエサは取りに行こうとはしません。ただ、外に興味はあるようで、シュート(出入口)から外へ顔をのぞかせていました。シュウのペースで新しい環境に慣れてもらうため、展示場と獣舎内を自由に行き来できるようにして待つこと…半年以上!10月になっ

てもまだ展示場に出ていないことが多いシュウでしたが、初めは顔だけ外にのぞかせていたのが、肩まで、上半身、腰まで、とわずかずつながら前進してきました。

シュート周辺からなかなか先へ踏み出せない期間が続いていましたが、夜間も展示場へ自由に出られるようにして展示訓練を継続した結果、11月に急成長をみせ、日に日行動範囲を広げていき、ついに展示場全体を探検できるようになったのです。12月は休園期間となりましたが、シュウはシュートを閉めても悠々と展示場を歩き回るようになり、プールに入ったり、展示場でも飼育員から肉を受け取ったりできる余裕も出てきました。

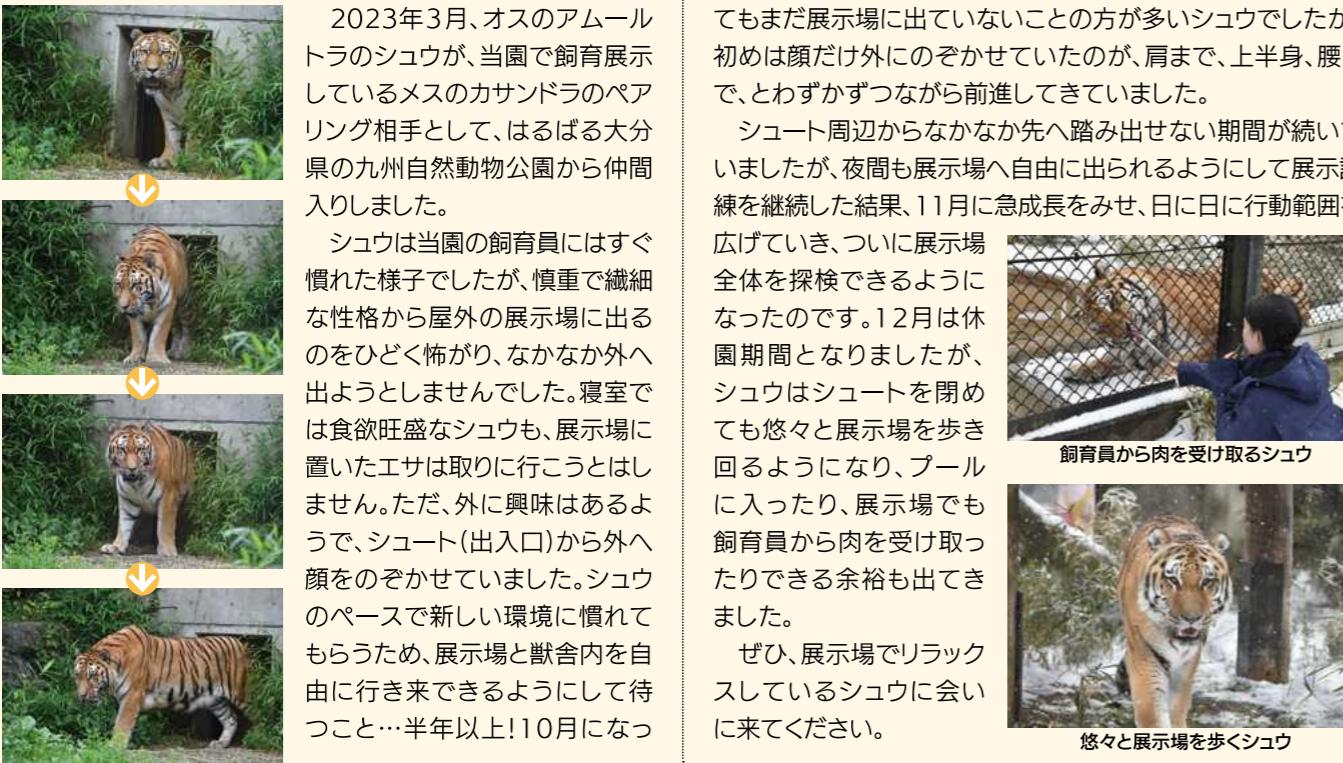
ぜひ、展示場でリラックスしているシュウに会いに来てください。



飼育員から肉を受け取るシュウ



悠々と展示場を歩くシュウ



report.3

ともに挑戦! ラクダのさっちゃん

飼育展示担当(動物専門員) 館岡 幸枝

2022年8月に仲間入りしたメスのフタコブラクダの幸は、来園して約半年が経った頃、ぎこちない歩き方をするようになりました。獣医師とともに四肢を確認すると、球節という前肢の関節の曲がり方に異常があることが分かりました。このままでは近い将来、歩くことはおろか立つことさえできなくなる可能性が高く、命に関わります。

獣医師と話し合った結果、球節を元の位置に戻すため前肢にサポーターを巻き、ヒールのついたサンダルを履かせてみるとしました。そのためには、幸に前肢を触られることに慣れてもらう必要があります。

大好物の草食動物用ペレットを使用し、少しずつ触られると慣れてもらったら後、前肢を上げることも覚えてもらいました。幸は元々物怖じしない性格のため、怖がったり嫌がったりすることはほとんどなく、サポーターとサンダルを装着することができるようになりました。

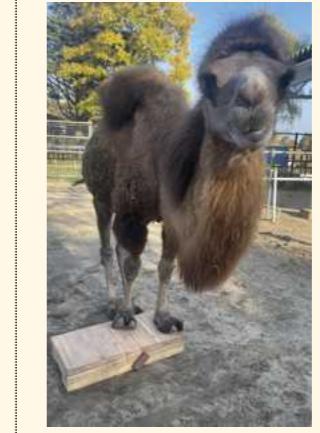
また、骨や腱の状態を確認するためのレントゲン撮影もいい、少しハードルの高い「撮影用の台に乗る」という行動も幸はスムーズに覚え、無事に撮影することができました。

ラクダでは前例のない治療のため、試行錯誤の毎日ですが、

必ず回復すると信じて今後も獣医師と協力して全力で治療に取り組んでいきます。どうぞあたたかく見守ってください。



サポーターをつけるトレーニング



台の上に脚を乗せる幸



動物病院 から

動物の検疫について

飼育展示担当(獣医師) 主席主査 小川 裕子

からです。フンが取りやすかつただけで幸せを感じられるなんて、改めて獣医師はおもしろい仕事だと思いました。

2頭は搬入後数週間、病気やケガ等なく穏やかに過ごし、検査も異常が無かったため検疫終了としました。その後、おはぎは園内の散歩トレーニングなどを行い、どうぶつパレードや写真撮影など大活躍しています。モスもトレーニングを始めていますので、今後が楽しみです。



秋のイベントでパレードに参加したおはぎ



到着直後のモスとおはぎ